

平成21年度長崎県地域限定通訳案内士合格者の声をお届けします。

(原文のままです。)

合格者： 福田淳仁 さん

合格外国語： 韓国語

私は現在、運送関係（配送）の仕事の傍ら、約5年前から独学で韓国語を勉強しています。2年前に韓国語能力試験6級（最上級）を取得し、今回初めて長崎県地域限定通訳案内士の試験を受けましたが、緊張の連続でした。特に口述試験では途中自分でも何を話しているのかわからなくなるくらいでした。

試験を受けるにあたって一番何が辛かったかという、やはり仕事との両立でした。仕事では韓国語とは全く関係がないので、勿論のことながら勉強は家に帰ってからとなります。濃いブラックコーヒーを何杯も飲み、眠たい目を何度も擦りながら夜遅くまで勉強をしていました。ここまで頑張れたのも、韓国語を通して、そしてこの長崎という土地で人に喜ばれる仕事をしたいという思いが強かったからです。

私は外国語（韓国語）の試験対策として、まず通訳ガイドの過去問を解きました。平成元年から20年度問題まで収録されていたのですが、正直なところ平成17年度からの4年間分を真剣に解き、その他の年度の問題はパラパラと眺める程度にしました。

私が特に重点を置いたのは、韓国の新聞を読むということでした。東亜日報や朝鮮日報などの記事を読み（ネットで無料で読めます）また、NHKハングルニュース、KBSなど韓国のテレビ局の記事なども読みました。韓国の新聞を読むということは以前から行っていた勉強方法なのですが、試験を受けるにあたって特に力をいれました。単語力強化には「ハングル」検定公式ガイドである「トウミ」(初・中級編)(上級編)の2冊を使用し、きちんと覚えているか確認の意味も含め勉強をしました。

長崎のことについてはテキストを何度も何度も読み、大事な箇所は線を引きました。さるくにも何度も足を運びました。そして、長崎県観光推進本部の“ともっち”さんのブログの記事すべてを読みました。“ともっち”さんのブログはとても内容が充実していて、楽しみながら読むことができとてもいい勉強になります（特におすすめです）。

口述試験にあたっては、外国人が訪れそうな長崎の観光地、食べ物、文化について徹底的に調べあげ、それぞれ2、3分程度にまとめ、韓国語に自分なりに翻訳をしました。そして、壁に向かってわかりやすく説明をしました。発音に不安が生じると、韓国人の友人に国際電話をかけ、チェックをしてもらいました。

これから研修等を通じてお客様に満足していただける案内ができるよう、日々向上心をもって勉強をし、「また福田淳仁さんにぜひ案内をお願いしたい」と言われる、そんな通訳ガイドになれればと思っています。

合格者： 王 玉英 さん

合格外国語： 中国語

20年度に引き続き、2度目の受験。そして最高齢者での合格に、「えっ！！」。少し、恥ずかしいような感じでした。今思い起こすと20年余、中国語と離れた生活でした。「受験する」姿勢を含めて、一からのスタートです。「受験に慣れる」事も必要と、中国語関連の HSK・BCT・TECC・C/TEST・会話を含め、日本語検定・漢字検定・長崎検定など、矢継ぎ早に受験し、1年は瞬く間に過ぎました。おかげで受験に抵抗も緊張も、感じなくなってきました。そんな中で1度目の受験。中国語を落としました。そこから勉強の方法を中国語を中心にしたスケジュールに変えました。中国語ドラマの中からは生きた現代中国語（四字熟語・慣用句の宝庫です）を聞き・書き取る。パソコンを利用し、NHK WORLD Chinese News で日本で使用される時事中国語を書き取り、CCTV のニュースで、中国国内及び世界のニュースを伝える中で使われる、現代中国語を聞き、書き取る。翌朝は、前日書き取った単語を調べなおし、整理する。これが毎日の作業です。現在、毎日起こっている事象を日本、そして中国では、どのように表現されているのかを、対照にして確認して覚えていく。外出してもメモを片手に走り書き、こんな単調な勉強が毎日続きます。一人でやる勉強は、先ずは自分に克つ事、解っていても真摯な態度でやり続ける事のむずかしさ。時には、全部忘れてしまうくらいの時間、気力が充実しない、成果を確認できないもどかしさ、そんな自分との戦い、苦しい1年でした。

2度目の挑戦は、比較的に手ごたえを感じたのですが、発表日が近づく頃には、自分の欠点を多々発見、自信喪失。「3度目の正直」、22年度に再再受験を決心、参考書を机に置いて、心の準備が出来た頃、合格通知を頂きました。「うれしい！」よりも、「スタートラインだ！ やっとスタートラインまで到着した。今から始まる」と、感じました。日々を重ねてゆくのが最も大切。次の高峰を目指して、今日も同じスケジュールで過ごしてます。がむしゃらに受験を続けてきた各種の検定、気がつけばすべてが関連していました。

余談ですが、長崎検定1級を受験しましたが残念、再受験の覚悟です。過密になっていくスケジュール、時には投げ出しながら、そして楽しみながらです。

来訪者の満足は、どうしたら？長崎をどうしたら堪能してもらえるのか？興味の対象は何？訪れてくださる方々、皆さんが異なっているはずですが、でも長崎の歴史で築き上げられてきた長崎っ子の気質で、明るく、楽しく、思い出づくりのお手伝いをしよう！そして、私の生まれた故郷、日本「長崎」を愛していただき、また訪ねていただくようにすること。

私なりにやっけていく中で解るのでは？肩の力抜いて前を向いて……………。

合格者： 土屋典子 さん

合格外国語： 英語

私は長崎生まれ長崎育ちですが、現在神奈川県在住です。憧れの通訳ガイドの資格が地元で取れるようになったと知り、受験することにしました。それをきっかけに、それまで敷居が高すぎて敬遠していた国家試験と併願という形で挑戦することを決めました。08年度は英語で合格点に届かず一次敗退、09年度は社会科目免除と英語科目合格で二次に進み、めでたく県限定資格、国家資格両方とも最終合格通知を頂きました。

<一次について>

一次対策は皆さんとあまり変わりません。英語だけ、モチベーションを継続するため東京の予備校に一次試験までの半年間通いました。日本事象を扱う英文を毎回精読していきました。

英語は単語暗記だけでなく和訳、英訳、要約、自由作文、などあらゆる角度で能力を問われます。自分がどの分野を鍛えるべきか、どうしたら確実に得点できるか、独りよがりの解釈になっていないか、早い段階から模試を受け冷静に見極めていくといいと思います。

長崎の社会3科目はテキストを真面目にやれば大丈夫です。

大手予備校は定期的に公開模試をしています。英語1科目だけでも利用できます。また某予備校はメルマガに登録するだけで毎日重要語句やタメになる情報を励ましの言葉とともに送ってくれますので活用していました。

一次の勉強は地道にコツコツやるのがカギだと思います。長崎の市立図書館の自習室は、帰省した際よく利用していました。綺麗ななお勧めです。

<二次について>

二次対策は、観光案内所などで英語のパンフレットを集めたり、ネットを利用しました。"your guide to Nagasaki"(公文堂やメトロ書店で手に入ります)は自分の言葉を織り混ぜながら暗記しました。二次試験の内容は以下の通りです。

- ・自己紹介(志望動機) ・堂崎天主堂の写真を見せられ説明
- ・長崎にクリスチャンが多い理由 ・平戸への行き方
- ・新型インフルが流行っているが、客がツアー中に具合悪くなったらどうするか
- ・平和公園がいつできたか、また平和記念像は何を意味してるか ・核兵器の問題？

やはり原爆とキリスト教の歴史がメインに問われました。単に観光箇所の説明だけでなく、歴史的な知識や、長崎のガイドとしてどう考えるかも含めて答えられるように用意するといいと思います。

私の場合は長崎の二次の前に国家資格の二次を終えていたのであまり緊張しませんで

した。可能な限り、外国人の友達などに協力してもらってなるべく本番に近いシチュエーションで練習するといいと思います。

<最後に>

初めてガイド試験に挑戦される方は、国家試験との併願はあまりお勧めできません。国家試験の社会3科目は長崎の社会科目に比べてはるかに難しいです。わたしは前年度に初の挑戦で両方の試験を同時に受けましたが、勉強するべきことが多すぎて、英語がおろそかになってしまいました。

また、この受験生活は私にとって決して易しいものではありませんでした。現在旅行会社で仕事をしておりますが、一次試験のある8月は、仕事の繁忙期のピークでもあり、残業後フラフラになりながら勉強していました。仕事と勉強を両立しようとしている方は、覚悟が必要です！しかし、受験をきっかけに県内の歴史や文化を知り、観光地を実際に訪れ、私はますます長崎が好きになりました。ガイドを目指す長崎の皆さん、ぜひ頑張ってください！本気で取り組みればきっと結果はついてきます。

合格者： 匿名希望

合格外国語： 英語

私は、仕事をしながらの受験で、自分の実力ではとても一回では受からないと思い、最初から複数年での合格を目指していました。

10数年前に通訳ガイド試験を受け、英語で歯がたたなかつたので、まずは英語から、と英語のみに2～3年覚悟し、とりあえず1年目は、英語（筆記）のみ受験しました。

対策としては、日常的には日曜朝にNHKの『入門ビジネス英語』と『実践ビジネス英語』の再放送（計1時間15分）を聴き、試験用には一応次の図書を買いました。

英語通訳ガイド試験模擬問題集（三修社）...主に和文英訳と単語英訳用

英語通訳ガイド試験必須単語集（三修社）...4,300語もあるので、一部をながめる程度

日本の事象英文説明300選（ハ-通訳アカデミー）...ポイントとなる単語・熟語のみ暗記

通訳案内士国家試験にでる英単語その1・その2（ハ-通訳アカデミー）...こちらも語数が多いので、時間があるときに一部をながめる程度

試験では、特に和文英訳が散々で、とても合格はムリかと思っていたところ、幸いにも合格の通知が来ました。

そして2年目ですが、まず筆記の残りの科目（長崎の地理・歴史・産業等）を受験しました。

こちらについては、基本的には、公式テキスト『長崎学への道案内』を勉強しました。

ただし、前年度の問題を解いてみると、歴史が非常に難しく特に写真問題がまったくわからなかつたので、写真を見ておこうと、インターネットのホームページ『長崎県の文化財』、『あっ！と長崎』、『ながさき旅ねっと』などから写真・説明をプリントアウトしました。

とりあえず歴史に力を入れましたが、実際、本番では地理がとても難しく、テキストではあまり見覚えのない問題が出ていた気がしました。よって、テキストのみならず、各市町の名所旧跡の最低限のことはチェックしておいた方がよいと思います。

試験結果は、なんとか合格でした。（地理は本当にギリギリでした。）

最後に、同じく2年目に受けた口述試験ですが、合格体験記を読むと、大体の問題の傾向がわかつたので、そこを重点的に勉強しました。観光地の説明は、前述のホームページ『あっ！と長崎』や『ながさき旅ねっと』で英語版と日本語版のページを見ると大変参考になると思います。

私のときに実際に出た問題は次のとおりです。

自己紹介　　なぜ、通訳案内士になりたいか　　旅行訪問先でお客様に『分煙』
についてどう説明するか　　宿泊ホテルを出発してしまった後に、お客様が「荷
物をホテルに忘れてきた。」と言ったらどう対応するか　　写真問題（坂本龍馬
...知っていることと、長崎とどう関係あるか）　　長崎と広島の原爆の違い
長崎の原爆はいつ落とされたか　　長崎のまちは、まだ原爆の影響により危険な
のか　　なぜ長崎と広島がターゲットになったのか　　等

なお、写真問題は、あらかじめ控室で3枚の写真を渡され、10分間、それらにつ
いて頭を整理する時間が与えられました。3枚のうち1枚は全然ムリだと思った（教
会の写真でしたが、どこの教会かもわかりませんでした。）のですが、それは出なかつ
たので助かりました。

結果的に2年で最終合格できたので、本当によかったです。

受験した感想としては、基本的に、1次の英語を合格できれば、なんとかなる、と
感じました。地理・歴史・産業等は、不合格でも翌年度にしっかり勉強して受ければ
よいですし、口述は、外国人の試験官の方が優しくて、こちらがしゃべりやすいよう
な雰囲気をつくってくれたので、しどろもどろになりながらも、なんとか話すことが
できました。

みなさんも合格に向けて、じっくり頑張ってください。